

○第3回長門市部活動改革推進協議会 会議録（概要版）

日時：令和5年6月1日 午後6時30分～午後8時20分

場所：長門市役所4階会議室

出席者：協議会委員16名、オブザーバー1名、事務局8名

■事務局

時間になりましたので、第3回長門市活動改革推進協議会を始めます。よろしくお願いいたします。

この度、年度変更に伴い、一部委員に変更があり、新しく3名の方が委員就任しました。委嘱状を交付します。

■会長

委嘱状交付

■委員あいさつ

■オブザーバーあいさつ

■事務局

人事異動に伴う職員紹介

■会長

長門市の部活動の現状について事務局から説明をお願いします。

■事務局説明

資料を基に説明。

特に団体競技におきましては、現在は足りていますが、3年生の引退後を見ると、必要人数に満たない部が出てきます。

3年生引退後の新チームでは単独での試合に出ることができないという状況がみてとれます。年によって異なるが、近年、特に3年生引退後に、他校との合同チームとして活動する部が複数出ているというのが現状です。

また各学校とも活動への所属を任意としていますので、当然その無所属の生徒、今回で言えば約5%、学校外のクラブチームに所属して活動する生徒、約7%ということで一定数いるということで、それぞれが、自分の実態、興味、関心に応じていろんな選択を持ちながら、部活を選ぶもの、部活に入らないもの、クラブを選ぶもの、それぞれ分かれているというところ です。

生徒数の減少で部活動の設置数も大きく減少しておりますが、少ない部活動の数であっても、部員数が足りないという状況が複数の学校で起こっています。

今後の生徒数減少が加速することが推測をされ、現在の体制では活動を維持することは、これまで以上に困難であるというふうに考えます。

地域移行に向けて、本当に多くの課題がありますが、今後協議を進めながら、長門市にふ

さわしい地域移行の形を模索していきたいというふうに考えています。

大変簡単ではございますが、説明させていただきました。

■会長

説明がありましたが、今年度の5月直近の各中学校の部活動の入部の状況ということで、全体的には、子どもの数が減っているということに影響されて、かなり運営の難しい部分もある。それから、所属については任意だが、無所属がかなり多い学校があるという状況です。

原因はよくわかりませんが、活動の選択の余地がないということによるということかもしれせん。

今後、部活動改革を進めていかなければならないということが明らかになってくるわけですが、委員の皆様、今この表をみて、直近の状況ですが、何か意見等ありましたら、お願いします。

■委員

学校外クラブチームで活動しているとあるが、何クラブあるのか。

■事務局

正式な数というのは把握していません。市外に行って活動する子どももいると聞いています。学校の中にないスポーツ、あるいは文化活動など。

■副会長

この部活動の改革推進協議会は、令和7年度からの準備をしているが、早くまとめていかなくてはならない。少子化に伴い、特に団体スポーツにおいては、切羽詰まった印象をもっています。

■会長

部活動改革を早急に進めていかないといけないというこは、この表からもやはり明らかになったということを踏まえて、子どもたち、保護者は部活動の改革について、どのような認識をもっているかということについて、令和5年5月に直近で実施した、アンケート結果がでています。

これについて事務局から説明をお願いします。

■事務局説明

①児童用アンケート結果について

対象：4年生から6年生の市内児童

回答者数 572 名で回答率が 89.7%

1 問目

「他の地区の中学校の人とスポーツや文化活動を一緒にすることをどう思いますか？」

友達が増えて楽しそうという意見が 53%

良くできるか不安に思っているというのが 32%

特に何もおもわない 14%

不安もあるなどが3割。小学生に聞いているので、小学校の規模によるもの、小規模校は大規模校とまとまるところに不安を感じるのではないか。

ただし過半数の子どもが楽しそうだと、肯定的な意見を持っている。

2 問目

「これまで学校ごとに行われていた中学校活動が、通っている中学校ではなて、種目ごとにそれぞれの会場で活動することになったとき、あなたはどうしますか？」

何かの活動に参加したい 63%。

参加したくないが 2.6%

わからない 34.1%

何かやりたいなと思っている 63%

いろいろな不安な部分が、分からないという回答に結びついているのではないか。

〈参加したくないと思っていることの原因〉

他のところに行きたくない

活動が嫌い など

3 問目

「中学生になったら一番やってみたいと思う種目を1つ選んでください。」

サッカー12.1%、バドミントン11.4%、10.5%

続いて、軟式野球、ソフトテニス、水泳、卓球、バスケットボール、バレーボール、ダンス、陸上競技、吹奏楽の順番

「二番目にやってみたい競技」

バドミントン、サッカーの順

バドミントン選んできた子たちの背景は、レクリエーション的なことを好む、楽しく体を動かしたいということかなと推測する。

深川中美術部においては、30人で吹奏楽よりも多い。仙崎中のカルチャー部もあるが、運動部には所属したくないが、何かに属したい場合に選ぶ傾向が強いのかなということが読み取れる。

■委員

スポ少で行っている種目はいくつあるのか。

■事務局

スポ少とクラブチームがある。サッカー2クラブ。スポ少1団体。その他に、軟式野球（スポ少）、テニス（スクール）、水泳（スポ少、スイミングスクール）、卓球（スクール）、バスケット（スポ少1団体）、バレー（スポ少全地区）、陸上（スポ少3団体）、剣道（スポ少3、4団体）、柔道（スポ少）、空手（スポ少のようなもの）、ダンス（スクール）、ラグビー（スクール）などがある。

■事務局説明

4 問目

「1週間の活動回数はどれくらいが妥当だと思いますか？」

平日1、2日、土日活動なしが一番多くて28%

平日に2、3日、土日活動なしが18%

平日3、4日で土日活動なしが17%、

土日活動なしの平日が多い。

4年生から6年生に聞いているので、土日遊びたいという感覚なのかなと考える。

5問目

「あなたは一番にどんなことを大切に活動したいですか？」

①他の仲間と楽しく活動すること、51%

②術や技能を身につけること18%

③試合に勝つこと入賞することが17%

④健康、体力作りということで10%

②+③=35%

①+④=62%

6問目

「何か気になること不安なことがありますか？」

人間関係に関わること50%

違う学校の子と上手く活動できるか不安、上下関係、先輩後輩の関係。

仲間との人間関係が不安に思っている。

次に多かったのが、制度に関すること。お金の関係、クラブの掛け持ち、学年ごとに変えることができるのか、移動に関する不安、活動時間など。

全体アンケートを通して、不安に思うけれども頑張っていきたい、ということを感じられるアンケートだった。

■会長

活動の頻度、また何を重視していくかということで、子どもたちの声、小学生ですから、まだ中学生の気持ちにはなっていないので、万全ではないと思うのですが、この子たちがおそらく中学生になったときに該当すると思われます。

引き続き保護者用のアンケートの結果についてお願いします。

■事務局説明

②保護者用アンケート結果について

対象：小学校4年生から6年生の保護者

中学校1年生から3年生の保護者

Web回答方式

回答数675人 想定では75%ぐらいの回答

1問目

「参加を希望する市内の中学生が平日休日ともに複数の選択肢の中から活動して自ら選

んで、まとめてスポーツ・文化活動を行うことについてあなたの考えを教えてください」

賛成 38%

どちらかといえば賛成が 32%

反対 4.8%

どちらともいえない、よくわからない 24%

合計で 70%の方が、おおむね賛成であるという意見をいただいた。

平日休日もやっていく、また活動の選択肢を持たせたいという、案、方向性に対しては 7割の方が賛同いただいている。

反対意見としては、学校で見て欲しい、送迎が難しいなどの意見がある。

よく分からないについては、案、方向性というものがはっきり見えていないから答えられないといったことだと思う。

これは本当にごもっともであり、質問が抽象的過ぎるとか、移動手段などが分からない、体制が分からないから答えられないなどの意見をいただいた。

意見に、不安という部分に繋がっていることだろうと思うので、少しずつ議論を進めて形にし、もう少し具体案を示していければと思っている。

2 問目

「部活動地域移行した場合、お子様に何らかのスポーツ・文化活動の参加をして欲しいですか？」

参加してほしい 55%

意思に任せる 45%

参加して欲しくない 0%

3 問目

「地域のスポーツ文化活動をお子様に参加してほしい種目、あったら良いと思う種目を 2 種目選んでください。」

バドミントン 20%、陸上競技、サッカー、ソフトテニス、軟式野球、卓球、バレーボール、水泳、バスケットボールが 10%超え、ダンス、吹奏楽、美術が 10%近くきている。

保護者もバドミントンっていうところに対して、かなりニーズがあるのだなということを感じた。

子どもの場合は、美術の人气が高かったが、保護者でいくと、美術は下がっている。

その他は、児童と近いような数字が出てきている。

4 問目

「1 週間の活動回数がどのくらいが妥当だと思いますか？」

平日 3、4 日、土日どちらか 1 日、が 33%

平日 3、4 日、土日活動なしが 18%

平日に 2、3 日、土日どちらか 1 日が 16.9%

平日 2, 3 日、土日活動なしが 12. 3%。

子どもさんと反対の結果。子どもはそんなに土日までやりたくない、親はしっかり平日は 3、4 日やって、土日が 1 日という、しっかり活動してほしいという思いが、表れている。

5 問目

「お子様には一番にどのようなことを大切にして活動してほしいですか？」

仲間と楽しく活動すること 67%

技能や技術を身に着けること 12. 6%

健康、体力づくりが 11%

試合に勝つことやコンクールに入賞すること 4%

仲間と楽しく活動することを大事にするという事がやはり保護者の間でも一番になってきた。

■会長

1 週間の活動回数、子どもに何を望むかということですが、当初示している回数は、平日 2、3 日、土日 1 日ということだったので、子ども達はそれよりも少ないのを小学生は望んでいる、保護者はそれじゃ足りないという意向に見える。

今後具体的な協議をしていなかいかといけないということです。

■事務局説明

6 問目

「部活の地域移行がされて、活動に必要な費用負担についてどの程度が適当であると考えますか？」

多い順で 1000 円から 2000 円、2000 から 3000 円、1000 以下。

負担することは考えられない 8%

ある程度費用負担が出るのはやむを得ないという考えが、いただけたのかなとは思う。

7 問目

「気になることで不安なことはないですか。」

一番多かったのは、移動や活動場所について。

活動場所への送迎の問題、保護者が送迎となると参加困難、活動場所がどこになるのかということの場所と移動の問題。

他にも、指導者について、生徒間のトラブル、問題が起こった場合の対応、費用負担について、活動日数、内容について、種目について、チームの形成の問題等。

いつ、どこで、どんな活動をするのかを示してほしいということです。

■会長

長門市部活動地域移行方向性について事務局からお願いします。

■事務局説明

現在の部活動の生徒数の状況について説明

地理的な条件、移動の時間、生徒の数、移動する人数、経費面などあるが、なるべく移動させる人数というのはやはり減らしたいとは考えています。

それに加えて展開する種目、施設が現実的に使えてその種目を運用できるのか、そういったところを考えながら、詳しくは決めることがまだ難しい。

拠点校という考え方で、いろんなパターンが考えられると思います。

シンプルな形に1ヶ所に集まるパターン。学校ごとに2つにまとめるパターン、種目ごとに2つ3つにまとめるパターンもある。

どういう形が理想的か探っていく中で、多くのパターンというものを考えている。シンプルに1ヶ所とした場合、キャパオーバーする可能性が高いので、各校での活動検討ということを加えている。

本日は皆様から意見をいただき、今後しっかり検討していきたいと考えています。

■会長

具体案が実際なかなか出てこない中ですが、内部では、いろんなパターンを考えていますが、課題にぶつかるのが現状ですが、いろいろと検証している段階です。

アンケートの中でも、スポ少の活動をそのまま中学校で引き続きやらせてほしいという意見、クラブチーム等での活動に参加したいなど、様々な参加の仕方がある。皆様から、アンケートからの課題として出た学校ごとにこういう部活動があり、ニーズがあるのを見た上で、ご意見を伺えたらと思います。

■オブザーバー

一番問題なのは、移動の問題。本校は3校舎制で、大津、日置、水産、本校は部活動バスというのが巡回をして回っている。本校が特別な学校形態ということで、県の予算をいただいて、年間契約をしているがかなりコストがかかる。

クリアにしないといけない問題という気はしています。

考えれば考えるほど課題が出てくるというのはそのとおりだろうな。先ほども少し触れた、スポ少がそのまま継続してクラブチームになっていく。その形でやっていくということもある。地域の部活動とクラブチームも同じ種目があるときにどうなっていくのか。それは中体連の関係でどうなっていくのか、今の説明を聞いただけではなかなか判断つかないというのが正直なところだ。

移動問題、活動時間、指導者問題もある。中でも何かあったときに学校側がどれだけ関与してくれるのか。今まで部活動というのは学校がやっているから、保護者も安心してきた。それが一般の指導者が入ってきた時に、どれくらい解決してくれるのか。保護者はそこが一番心配ではないのかと。一つ一つクリアにしていけないと、難しいのではないかと思います。

■委員

具体的ではないので、子どもも保護者もよくわからないと思う。

見えない中で、子どもも保護者も、アンケートもそうですけど、よくわからないと思う。

早い時期に具体的な案を出して、色々課題がたくさん出てくると思うが、課題を一つ一つ潰していくしかない。最初から、満足いくものっていうのはできないと思うのでなるべく早く具体化して、それをぶつけて、キャッチボールしながら、何度もやりとりをしながらいい案にしていく方がいいと思う。

大変だが、具体的なところが何も出ないと保護者も子ども達もどう考えていいのか分からないと思います。

■委員

移動、拠点の話が出てきた時に、大津緑洋高の話は参考になるのかなと思う。

指導者の受け皿がしっかりできなければ、子どもを安心して預けられないとかいうことがありますので、この辺のこともしっかりと考えていかないといけない。

スポーツ推進委員も関わっていただけると思うし、これから内部でも考えさせてもらいたいなと思っている。

■委員

子どもたちとかのアンケートを見ると、本当は子どもたちの人気のスポーツはこういうところにニーズがあるのかな。子供たちが求めるスポーツと既存する部活動の種目をどういうふうに取り捨選択していくのかっていうのもアンケートをとったので、それを反映していくのか、ただこの調査で終わるのか、というところも大きなことだと思し、子供たちが、地域移行したときに、全てのスポーツが同じ回数で同じ曜日で行われるのか考えなければいけないと思う。

スポーツ少年団の方で、中学生で継続的に入っている子どももいる。

長門市はスポ少に中学校、高校入っていない。スポ少と部活動は違ったものですが、選択肢によってどういうふうな流れが起こってくるのかなということは気になる。

■委員

先ほどお話がありました、拠点校について、話合っていきたい。

指導者の確保は結構大切になってくる。子どもがサッカーのクラブチームに入っていて、クラブチームで指導されている方は、それで食べているわけじゃないので、仕事した後に、主に6時半から8時くらいまで指導されてくれていますし、それが今行われている活動の時間帯に合わせて指導してもらえそうなこともできるのか。

ある程度クラブチーム、スポ少にも願います。といった感じである程度決めた方がやり易くなるのかなと。

やっぱり地域の方々の指導者だけでは限界があると思うので、働き方改革ということで先生方は活動に一切関与しないよというわけではなく、ある程度、保護者の希望で、週に3、4日活動してもらいたいというところと、指導者がそこまで確保ができないところも出てくると思うので、先生方がどこまで指導に入ってくれるのかも気になるところ。

保護者の声で、平日3、4日して欲しいというのは、早く帰ってきて、うまく時間を使える子どもが少ない。家でゲームなど。試験があれば、学校の勉強でもするんだろうけど

も、活動する日を増やして、少しでも子ども達が上手く時間を使えるように指導してあげないといけないと思う。

■委員

現在の部活動の中に、外部指導者が指導している学校はあるのか。

例えばどういった方が入いられているのか。

外部指導者が入いられているスポーツ・文化活動のところがあるのか。

■事務局

外部指導者が指導している学校はある。

■委員

他市の方に聞くと、クラブ的な感じで指導者の確保ができていますが、フリーになると他の学校からくるっていうことになると、上手く回らないのではないかっていう意見がある。他市の事例を聞いていたら、萩市は、青山学院大学の先生が来られたなど少し気になるなっていう部分がつい最近あった。

■会長

外部指導者というのは、先生が現段階は指導しまして、その補助的な役割という形で、外部指導者がボランティアで入っている。

おそらくその方々がメインで指導するということについて以前調査をしたが、それならできないという方が多くおられた。今の外部指導者がそのまま純粹に単独の指導者でなるっていうのはちょっと難しいなということはある。

青山学院の例を出されたが、長門市もパナソニックなどと提携をしているが、なかなか日常的な指導になるところが使えるかという問題もあり、今回市全体で考えていくという形で、道筋を探っていかなければいけないと思う。

ありがとうございました。

■委員

3点ある。

検討しているのが学校の部活動という教育活動の一環。そこから地域のクラブ活動、学校との連携はするけれども地域のクラブ活動に移行していくってことは、学校の教育活動でなくなる。

学校で活動するけれども、学校教育活動から切り離されるっていうことを前提に考えないといけないので、部活動と同じようなサービスをそのまま受けられると考えたら無理がある。ということをもまず頭に置かないといけないというふうに思う。急にはできないかもしれませんが、いずれそうなるっていうこと。

まず長門市地方特有の少子化の影響でチームが組めないから一緒にどうこうというのはそういう現状もあるが、教師の働き方改革の中から出てきたことであるので、そこを押さえないといけないっていうのを改めて思った。

指導者の確保という意味で受け皿となる団体などが、今現在どれくらいおるのかって

うのは条件的に未定な部分はあるが、早いところ1次調査しないとイケない。

部活ではないので、自分から選んでいくという意味では、多様な種目があるっていうのは、大事だと思う。

子供たちの意向、保護者の意向もあるが。競技スポーツ、トップを目指す、勝つことが大事って言う人もいる。楽しみっていうか生涯スポーツに繋がるような、そういうスポーツとの関わりをしたいと思う子もいる。

同じ種目でも多様な関わり方があるようなクラブがあるとより多くの子ども達のニーズに応えられるのではないかと、そういう多様性を持たせること、どう目指すかという意味では非常に大事な視点になるのかなと思う。

■委員

多くの課題が今出ておりますけども、指導者の問題、活動場所、移動の手段、種目等多くの課題をこれからどうするか。まだまとまって進んでいないような気がする。

何回かこのような全体会を重ねた後に、一つ一つ課題ごとに分かれて、課題について、小人数で話し合などを行わないと、具体的な検討を行ったものが見えてこない。実際に保護者、子どもたちが選択するとき、まだまだちょっと材料が少ないのかなと思う。

■委員

本校職員は放課後、職員室に誰もいないっていうぐらい、先生方は部活動の下校時間まで寄り添ってくれている。そういった実態に対して、逆に管理職としては甘えてはとイケないと思っている。まずは、長門市の方向性、方針として示していただくと、それぞれの立場からどう関わったらいいのか検討ができるのではないかなと思う。

少子化で子どもたちが今それぞれの学校で本来希望した部活動できないから、地域移行という形をとる過程において、子どもの需要を満たすということが一理であれば、そこに向かうためには多少の移動の時間、経費、指導者など、それぞれの立場で議論ができる。

方向性が大切であり、教員の働き方改革という視点に立って、これを地域移行していくのであれば、学校の教職員として、そこにどう関わっていくかという議論がまず出てくる。

具体的方針が見えると私どもは、それぞれの立場から何ができて、何ができないか、どんな情報が必要、というようなことが次に進んでいくと思う。

■会長

長門市の場合は、教員の働き方改革はもちろんあるが、第1理は、子ども達に文化、スポーツの選択肢が少ないという、市民の声があった。これを契機に、本格的に取り組もうということで取り組んでいる。

■委員

今本校ではカルチャー部という部活があります。所属していない生徒がゼロというのはおそらくカルチャー部が幅広く受け入れることができているということ。何をやるかということをはっきり決めていないので、子供たちや、学校のニーズに応じて臨機応変に子ども達が活動しているという状況で、非常に皆満足して活動しているように思う。またそういう

ものが必ずあると、子ども達の放課後、家にすぐ帰る人数が減ると思う。

移動するという形であれば1週間、曜日を決めておかないと、授業数、教育課程の観点から、この曜日はこの種目の生徒が抜けたということにならないようにしておかないといけない。

子ども達のニーズに応じて、様々な種目がアンケートでているが、指導者の確保等から考えてあまりそういうニーズを全て拾い上げるというのは困難だと思う。一定線の方向性を持って、引きながら決めていく必要があるのではないかと思う。

■委員

4月に第1回目の学校運営協議会がありまして、実は、その中で地域の部活動地域移行の話がでて、学校運営協議会の委員が反応してこられた。

地域としても、この話題は非常に関心度が高い。

個人の思いとか、どこに課題を感じるかっていうことは皆さんバラバラなので、いろんな意見をいただいた。

次回も議題として、地域移行の話題を出そうということにしている。

それぞれの思いだけでは、まとまりがない、言って終わりの会になるので、そうではなくて、論点を絞る。今、3つ論点を絞っている。3つの論点の上で、小グループに分かれて意見を出し合い、三隅モデルを作ろうか、ただ採用してもらえるかは全然わからないが、自分ごととして考えて、こうだったらいいのではないかっていうものが出てくるというところを目指している。

■委員

保護者宛ての文書が出ているので、保護者の方は令和7年度になったら完全実施ですよね、っていう声がたくさん聞かれる。中3の保護者の方はもっと早く移行してくれたらよかったのという声があった。すごく楽しみにしているという声も聞いている。今年度の1年生に無所属が多いのは、やりたい部活がやっぱりないっていう、好きなことをさせたい、習い事、自分のやっていることを継続してやりたいから部活には参加しませんっていう方が多かったです。学校としては、今話しに上がっていた、5校での年間行事を揃える、移動した後の部活の時間が確保など、そういった体制を本年度、来年で検討していく必要があるかなと思う。

■委員

市の方針が具体的なところまでいくと、議論ができると思う。

■委員

小学校からするとですね、今回のアンケート結果は予想の範囲内だったなというふうにする。バドミントンが多いのも確かに頷けるかなと思う。

保護者世代、今回4年生以上だが、今の低学年の保護者になってくると、またその部活等への考え方が、変わってくるのだろうなと思う。

■委員

実際部活現場で指導して感じているのが、専門分野だといいが、そうでない場合の負担が大きいと感じる。試合前になると緊張感がすごくて、でも生徒には何とか勝たせたいという思いでずっと指導しています。

やりがいは感じているが、指導する場合、自分の専門分野だとやり易い部分はあるが、すごく負担に感じている先生方が本当に多いのではないかと思う。

実際そう思っている時期もすごくあった。働き方改革っていうところで、地域移行に話がどんどん進んでいるっていうのもありますし、なるべく早く進めて頂きたいなと思っている。

■会長

ありがとうございました。

アンケートですが、アンケートが単なるアンケートを取ったという事実で終わらないようにしなくてはいけないということで、大切にしていこうということをお話している。

バドミントンを選択した子が多い。この事実をどう捉えるか。競技スポーツとしての激しいバドミントンっていうイメージはあまりないのではないか。スポーツを楽しみたい。いろいろなスポーツを、それがバドミントンであったり、多種目のスポーツを身近なところで楽しみたいという思いが、あるのではないかということ、我々の頃の子どもの世代と違う部分があるのではないかということが浮かび上がったということ、事務局内では協議したところである。何も移動しなくてもそういうニーズについては、それぞれの学校で、仕組みを利用して、いろいろなスポーツを季節ごとに楽しんでいくことを求めている子どもがいるだろうと。そういう部分も大切にしながら、移動して集まるスポーツ、文化ということも、考えていかなければならないだろうと思っている。地域から公民館を使って、競技スポーツや文化活動でも、コンクールで賞狙うとかそういうレベルじゃなく楽しみたいという子もいるはずだと。囲碁、将棋などやりたいなという声も聞く。先行してしてはいけないかという意見もある。

貴重な意見をこれから参考にして、グループごとに、課題ごとに集まっていく対応も進めていくという方向も必要である。スポーツの指導者がどれくらい確保できるかというニーズ調査、非常に必要である。様々なご提案いただいておりますので、そういう考えを具体的に入ろうかという話。

■副会長

スポーツ協会に多くの団体が加盟している。加盟団体には、子どもたちを確保して、自分たちの競技の裾を広げなさいと話をしている。

問題は指導者、スポーツ競技団体から指導者を出して欲しいとなると、講習が必要。パワーハラ・セクハラ等、現在スポ少の指導者はそういうライセンスを持っている。

各競技団体、関係者から聞くと、学校の先生が少しは参加して頂かないと、自分達だけで指導していくのはやっぱり怖い、自分達だけでは出来ない。そういったところの協力が得られるかどうか聞いてきて欲しいという話。

この話が進んでいけば、そういう具体的な話をして欲しいと思います。

事務局にお願いしたいが、持っている素案を全部出してしまっていて具体的に話し合いたい。素案をどんどん出して、グループ分け、セッション分けしてやっていかないと、前回と今回もあんまり変わっていない気がする。

より具体的に話をしたい。指導者の教育を含めた、指導者の選択など。

早く進めていかないと、令和7年度は難しいのではないかと危惧する。

子どもたちの為にも、先生方の為にも、やるしかないから、具体的な話をしていくしかない。

■事務局

委員の皆様、ご協議ありがとうございました。

ご意見の中にありました、中体連の大会の話があったと思いますが、今年度から地域のスポーツクラブも中体連の試合へ参加ができるようになっている。

県内でも武道系が多いと聞いていて、県内で70くらいが登録をされたと聞いている。これは個人で出場する、スポ少などがある。

次回、第4回協議会は8月に予定したいと思います。

それでは第3回長門市部活動改革推進協議会を終了いたします。

長時間にわたるご協議ありがとうございました。